

えさし



市内各自治区の特産物が並ぶ奥州華御膳

えさし藤原の郷は4月1日、市内各自治区の農産物を盛り込んだ新メニュー・奥州華御膳を発表しました。新メニューの開発は、開園15周年記念の取り組みの1つで、県外客に市内の優秀な農産物の味を売り込もうと企画されました。同園の調査によると、岩手で絶対に食べたいものの第1位が前沢牛とのこと。お膳にはこの前沢牛をはじめ、ガルギール入りすいとん、江刺りんご、ピーマン、クルミなどを使った料理が並びます。奥州華御膳は1食2,100円で、団体客(5人以上であれば)なども可。要予約☎7790) 向けに提供されています。

奥州の味覚を一度に楽しむ
えさし藤原の郷が新メニュー発表

まちの話題



元気と熱気に包まれた舞台

いさわジュニアミュージカル水沢公演



約800人の観客が詰め掛けた初の水沢公演

いさわジュニアミュージカルスクールとNPO法人劇団ゆう(滝沢村)の合同公演は3月30日、市文化会館(2ホール)で行われました。

いさわジュニアミュージカルの公演は、これまで胆沢区内で行われていましたが、7年目を迎えたことしは、市内の多くの人に観てほしいと胆沢を飛び出し、初の水沢公演が実現しました。

この日演じられたのは「アラジンと魔法のランプ」「なまけもののナナリンとすてきな仲間たち」など3演目。「なまけもののナナリンとすてきな仲間たち」でナナリン役を演じた松戸菜莉さん(胆沢第一小4年)は「練習の成果を出せるように頑張ります。楽しんでみてください」とメッセージを送りました。

子どもたちは舞台狭しと動き回り、歌にダンスにと元気いっぱいの熱演を繰り広げました。

まえさわ

森も人も大きく立派に育て 生母地区の小学生が記念植樹



住民と小学生が一緒に作業

生母地区の小学校卒業を記念した植樹は3月27日、県道長坂・東稲線から月山キャンプ場に通じる山林で行われました。

卒業に合わせた植樹は、同地区が取り組むイロハモミジを中心とした「地区民の森づくり」の一環として、生母地区振興会(菊地政平会長)が新たに始めたものです。赤生津小、母体小の卒業生各8人と地域住民ら約30人が参加し、イロハモミジ20本、オオヤマザクラ50本(一部は両校の敷地に植樹)を植樹しました。

卒業生らは、自分が植えた木々の成長に思いをはせながら、丁寧に作業を進めていました。

音楽の都ウィーンが衣川に 羽衣荘でバイオリンコンサート

衣川区古戸の特別養護老人ホーム羽衣荘で3月15日、「ウィーンの風を衣川に」と題したバイオリンコンサートが開かれ、施設入所者や地区住民約150人が音楽の都ウィーン(オーストリア)のバイオリンの音色に酔いしれました。

コンサートは「学びの広場・板倉 寺子屋一庄屋」(千葉寛代表)が主催し、二戸市出身でウィーン在住のバイオリニスト下斗米千寿子さんが招かれました。下斗米さんと千葉代表は旧知の仲であったことから今回のコンサートが実現。本格的なバイオリン演奏曲や、お年寄りにもなじみ深い唱歌なども演奏されました。



間近で本場の音楽を楽しむ入所者

みずさわ

鑄物の町に祭ばやしが響く 好天に恵まれ羽田町火防祭



羽田町剣ばやしを披露する羽龍会

市内春祭りの先頭を飾る羽田町火防祭は3月30日、同町本町通りを会場に開かれました。この日は春特有の強風もほとんどなく、絶好の祭り日和。大勢の観客でにぎわい、町は祭り一色の雰囲気になりました。

羽田町火防祭は、42歳厄年連、33歳厄年連などを中心に、多くの地区住民が参加する祭りとして親しまれています。名物の鑄物屋台は、羽田産鑄物による装飾が施された豪華なやし屋台です。先導する33歳厄年連羽龍会(高橋賢会長)と屋台に搭乗した少女たちが、勇壮かつ優雅に羽田町剣ばやしを披露すると、沿道から多くの拍手や歓声を送られていました。

暮らしと共に受け継がれる いさわ伝承芸能まつり

第17回いさわ伝承芸能まつりは3月9日、胆沢文化創造センターで開催されました。

伝承芸能とは、作業唄や祭礼の余興・行事に伴った唄や踊りなど、人々の暮らしと共に地域で受け継がれてきたものです。ステージでは14団体が権現舞や相撲甚句などを披露したほか、特別出演として特別養護老人ホームぬくもりの家の利用者が「ぬくもり太鼓」を演奏し、約600人の観客を楽しませました。

会場にはお年寄りの姿も目立ち、歌や踊りが始まると、時折目を閉じて昔の生活を思い浮かべているようでした。



地蔵権現舞保存会による権現舞

ころもがわ